

2020年8月15日

**シリル・ラマポーザ大統領、
経済活動の大幅な制限緩和を発表（要旨）**

- 南アフリカのシリル・ラマポーザ大統領は8月15日、国民向けの演説の中で新型コロナウイルスの新たな感染者の数が大きく減少しピークを越えたとして、8月17日に南アフリカ全土における警戒レベルをこれまでの3から2へ引き下げるとともに、経済活動に関する制限を大幅に緩和すると発表。
- 新たに確認された感染者数は、過去3週間で1日あたりピーク時の12,000人以上から5,000人前後にまで減少。
- 8月16日までの感染者数は延べ587,345人にのぼっているが、入院患者数は8月頭の約10,000人から4,000人前後へと減少。回復率は80%で医療体制は切羽詰まった状況にはない。累計の患者数から治療を終えて回復した人および死亡した人の数を引いた現感染者数も105,000人程度にまで減少している。
- 州をまたいで国内旅行の制限は全て撤廃。親族の訪問についても感染予防の徹底を条件に許可。
- 定められた感染防止対策の徹底を条件にレストランやバー、宿泊施設の営業とツアーの催行も認める。
- 酒類とタバコの販売も再開。ただし店内での酒類の販売は夜10時まで、店頭販売は月～木曜の午前9時から午後5時までに限定。
- 一方で国境の封鎖は継続され、国際線の運航再開も見送り。
- 葬儀や礼拝などの宗教行事を含めた50人以上の集会、スポーツイベントでの観客の入場も引き続き禁止。
- 午後10時から午前4時までの外出禁止措置は継続され、国家非常事態宣言も9月15日まで延長。
- 希望の光が見え始めてはいるものの制限が緩和されても感染リスクが下がるわけではなく、引き続き警戒を緩めずにマスクの着用やソーシャルディスタンスを保つなど予防対策の徹底を呼びかけている。